

令和7年度 春日山原始林・奈良公園フィールドワーク

第4回 概要報告

奈良教育大学 ESD・SDGs センター研究員 杉山 拓次

■第4回 奈良公園の夕暮れ～夜（なら燈花会・二月堂周辺散策）

実施日：2025年8月9日（土）17:30～20:10

参加者：8名（学部生：7名、外部教職員1名、外部関係者1名、教職員：杉山、中澤、河野）

概要：奈良公園の夏の夜の風物詩「なら燈花会」を見学すると共に東大寺二月堂からの風景や奈良公園の夜の魅力について体験します。

スケジュール	
17:30	奈良教育大学正門集合
17:35	自己紹介・期待すること・出発
18:00	東大寺（南大門、大仏殿中門、鐘楼、二月堂）
19:20	燈花会见学（春日野国際フォーラム、浮雲園地、浅茅ヶ原園地）
20:10	解散

■概要報告

少し暑さの和らいだ夏の夕方。第4回のフィールドワークを実施した。正門前に集まって自己紹介・期待すること聞くと燈花会に行ったことがないという学生が複数おり、皆楽しみにしているというコメントがあった。

東大寺を目指して移動。途中、飛火野からは、御蓋山、春日山眺めることができた。奈良公園内は、燈花会に合わせて屋台が出ていたり、浴衣姿の観光客も見られた。

東大寺参道までは観光客も多く見られたものの、南大門まで来ると人もまばらとなった。南大門では、中澤先生から大仏様と石獅子について、大仏殿中門では兜跋毘沙門天について解説をいただいた。その後、鐘楼を見学したのち二月堂へ。

この日はちょうど功德日（およく）と言われる観音様の縁日となっており、福引きがあつたりと普段とは異なる様子であった。二月堂からの眺めは、あいにくの曇り空ではあったが、ゆっくりと日没と空が暗くなるまでの時間を過ごした。

19時を少し回り少しずつ暗くなっていくところで二月堂を後にして、奈良公園の春日野園地から春日野国際フォーラムの燈花会会場へ。春日野園地では、人もおらず広い空と芝の風景を眺めつつ、かつては運動場であったことなど奈良公園の歴史についても触れた。国際フォーラム手前で雨が降り出してきたため、施設内で暫し雨宿り。雨が落ち着いてきたところで一客一燈が行われている国際フォーラムの中庭を眺めたのちに浮雲園地へ。

幻想的な風景を作り出している蠟燭の明かりは、毎日、ボランティアの方々が準備と撤収を行っている。関わる人たちの想いで作られている「燈花会」という取り組みがあること、一方で過去の開催に比べて実施エリアの縮小なども見られており、20年以上継続している取り組みであってもさらに継続していくための課題があることも意識する機会とした。

浮雲園地から浅茅ヶ原園地へ移動し、見学したのち現地で解散とした。

■写真



挨拶



大仏様の説明



鐘楼



功德日（よおく）のくじ引き



二月堂



春日野園地



春日野国際フォーラムの一客一燈



浮雲園地の燈花会